

第2回 生涯学習センタービル大規模改修懇談会（書面会議）議事録

日 時	令和3年（2021年）1月20日（水）～令和3年（2021年）1月31日（日）（開催期間）
場 所	書面開催
出席者	三浦 眞一・炭谷 晃男・丹間 康仁・岡本 夢乃・大倉 弘美・長谷川 典子・米本 彩子
欠席者	なし
議 題	八王子生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本構想（案）について

・「第5章 生涯学習センタービルのあり方と課題（P28～30）について

	意見など	回 答
1	市民が生涯学習センタービルに行ってみたい、そこで学んでみたいと思えるような施設の在り方を、さらに具体的に議論をする必要があるのでは。	生涯学習センタービルのあり方につきましては、令和3年度の生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本計画策定において具体的に検討してまいります。
2	八王子市教育委員会では2020年度から2024年度までを実施期間とする「生涯学習プラン」を策定していますが、本構想（案）の第5章「これからの生涯学習センタービルのあり方」（p.28）は、基本的にこれまでどおりの施設のあり方を継続する趣旨で書かれており、「生涯学習プラン」の目指す方向性をより反映していただきたいです。最新の「生涯学習プラン」に掲げられている人生100年時代を見据えた学びへの視点や高校生や大学生等の若者を大切にする視点、学びと活動の循環や地域社会への還元等についての視点なども加えていただき、現状維持	御意見いただきましたとおり、第5章「1 これからの生涯学習センタービルのあり方」の（1）及び（2）について、「新・生涯学習プラン」の目指す方向性をより反映した記述としました。基本計画においてもそれらの視点をより明確化し、整理して策定を進めてまいります。 「市民」「利用者」「来館者」の言葉を整理した結果、30ページの「より多くの利用者が訪れる施設づくり」は「より多くの市民が訪れる施設づくり」に修正致しました。

	<p>に留まらない新たな時代を見据えた生涯学習センタービルの“これから”のあり方の展望が大切だと考えます。施設づくりの計画には長期的な見通しが重要です。2025年度以降の「生涯学習プラン」の具体的な内容は決まっていないものの、現段階での最新の計画から生涯学習政策の方向性を見定めることは必要だと考えます。第3章では「生涯学習プラン」等の計画に触れられていますので、その箇所とも整合性を図り、“これから”のあり方の構想として練り上げるよう望みます。</p> <p>構想（案）において、「市民」「利用者」「来館者」などの言葉を精緻に整理することで、生涯学習センタービルがどのような方を対象に、どのような施設を実現してアプローチしていくのかがクリアになると考えます。第5章2（2）では、「より多くの利用者が訪れる施設づくり」（p. 30）という見出しになっていますが、内容としては、市政モニターの結果等も踏まえて、これまで利用したことのない市民にもぜひ利用していただくことを目指す趣旨だと捉えました。ここでは、「より多くの市民が気軽に訪れる施設づくり」や「市民にとって身近な施設づくり」などの表現についても検討いただき、来館者の開発等の視点も念頭に置きながら、施設の課題を明確にしていいただければと考えます。</p>	
3	<p>2 施設の課題（2）より多くの利用者が訪れる施設づくりに関して図書館は別にして、生涯学習センターの施設を利用する人の多くは団体に所属している人である。しかし、個人（ひとり）で生涯学習活動を行っている人も訪れる場所になるといいと思う。例えば、通路壁面を利用して作品を展示できるスペース（生涯学習センター内ミニギャラリー</p>	<p>展示スペースについては南大沢分館や川口分館では利用頻度が多いですが、クリエイトホールの展示スペースは活用されていない状況です。今後の利用方法を検討いたします。</p> <p>現在、個人活動の対応として、学生向けには学習室に空きがあれば自習スペースとして開放しております。市民が気軽</p>

	<p>一) を設け、定期的に展示品を入れ替え、個人でも展示できるようにする、といった工夫ができないものだろうか。</p>	<p>に訪れることができるような施設づくりを中長期保全計画改修工事基本計画で検討します。</p>
4	<p>コロナ禍で私たちの暮らしが変わり今までの自由に行動し人と関わってきたのに今は我慢が多くなりました。また子育て、介護を経験した者として今の状況は家にこもり人との繋がりが少なく孤立しても声に出せない人が多くいるのではと思います。静かに1人で本を読むスペース、学生には勉強スペース、社会人にはリモートスペースとして(狭い家で家族がこもると大変ですが仕事は学習スペースとしては開放は無理ですね)空き学習室を開放、活用して欲しいと思います。</p> <p>学ぶ事が自由に楽しくできる日を待ち人との交流の場である施設の運営をこれからもお願いします。</p> <p>情報はSNSが主流ですが、見て集める魅力的な掲示板コーナーがあってもいいと思います。</p> <p>(緊急事態宣言解除後に落ち着いたら)ショッピングセンターのように間隔をおき廊下や広いスペースに1~2人用の椅子が何ヵ所かあるとワンオペママ(パパ)も高齢者も少し休憩ができて安心な場のひとつになると思います。</p>	<p>中長期保全計画改修工事基本計画策定にあたり、令和元年(2019年)の11月に実施した利用者アンケートや市政モニターでいただいた皆様の声と、今回いただいた様々な意見も踏まえ、社会情勢や市民ニーズを反映した具体的な施設のあり方や設備について検討してまいります。</p>
5	<p>1階プロムナードが暗い、入りにくいとアンケートに書かれている。1階に受付を作り明るい雰囲気を作り生涯教育の場になってほしいと思います。</p>	<p>1階のレイアウト等を含めたビル内の各フロアの施設配置や改修内容については、令和3年度の生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本計画の策定において議論を予定しております。その中で、より多くの方が気軽に入りやすい</p>

		施設づくりを目指してまいります。
6	<p>図書館とクリちゃん広場は頻繁に使用していましたが、夜間も勉強などに使えるとは知らなかったです。</p> <p>イメージ、リタイアした高齢者の方が趣味で部屋を使用しているという感じで思っていたので、もっと若い世代に使える施設だとアピールした方がいいと思います。</p> <p>まず、クリエイトホールの掲示板に開催情報を掲示しても、頻繁に利用している人にしか目に入らないので、SNSを使用したアピールが必要だと思います。</p> <p>wi-fi は必須です。</p> <p>今も子供を預けることができますか？利用しようと思いましたが、予約方法がハードル高かった気がして利用できずにいました。(ちょっと検索してみたのですが見つからなかったなので、情報が古かったらすみません)</p> <p>撮影室などの利用頻度が低いとのことなので、大学と協力し合って利用を促す環境を整えたり、利用金額を学割適用してみるなどはいかかでしょうか。</p>	<p>現在の生涯学習センターの利用者は、ご高齢の方のサークル活動の利用が多く、他には中心市街地の企業の打合せや研修等の利用がございます。</p> <p>男女共同参画センターでは、学習支援・求職支援のための無料託児サービスを行っております。利用する場合は、事前の登録や予約が必要になります。</p> <p>中長期保全計画改修工事基本計画策定において、学生のワークショップを予定しており、情報の発信や利用の促進について議論したいと考えております。</p>

・「第6章 生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本構想（P31、32）」について

	意見など	回答
1	人生 100 年時代を見据え、乳幼児からお年寄りまですべての市民が利用可能で、災害発生時の対応を具体的に検討し、改修計画に入れる。	生涯学習センタービルは、災害発生時の一時滞留施設に指定されており、防災機能については、中長期保全計画改修工事基本計画策定で検討してまいります。
2	<p>図の「改修工事の方向性」(p. 31)として4点を示しています。1点目のみが「拠点」、ほかの3点は「施設」と表現していますが、どのような意図でしょうか。1点目を「拠点となる施設」とせず、現行案のとおり「拠点」という表現で止めるほうが、改修工事の方向性を示すうえで適切ということでしょうか。</p> <p>改修工事の方向性のうち、2点目の「来心地（きごこち）」は、意味合いとして直感的には理解でき、施設づくりにあたって特に大切な方針であると捉えました。キーワードの新鮮さがありますが、造語であり、一般にあまり使われていない言葉かもしれません。補足や言い換えが丁寧に記されるとより親切だと考えます。</p>	<p>生涯学習センタービルは生涯学習センターが中心となり、市内の生涯学習活動の中心的役割を担うことをより強調するため端的に「拠点」という表現にとどめました。</p> <p>御指摘のとおり、補足（「※市民が気軽に立ち寄りたくなる」）を追記しました。</p>
3	<p>これからはハイブリッド形式で会議や講座を行う機会が増えていくと思われる。プロジェクターとスクリーンを備えた学習室を少しでも増やしてもらえるとあり難い。</p> <p>若い世代も集える施設にするなら、若い世代が利用する場合の施設使用料は割り引くなど、工夫が必要だと思う。</p>	<p>現在、生涯学習センターではプロジェクターとスクリーンのある部屋とない部屋があり、数は少ないですがプロジェクターとスクリーン貸し出しを行っております。</p> <p>個々の施設の設備や貸し出し物品等のあり方につきましてもより利用しやすい施設となるよう中長期保全計画改修工事基本計画で検討いたします。</p>

4	<p>「改修工事により目指す姿」 今までの市民から集めた皆さんの気持ちが反映されているので楽しみにになりました。 緊急時の避難所、情報提供の場の役割も有り難いです。</p>	<p>生涯学習センタービルは一時滞留施設に指定されているため、災害発生時の施設機能の充実について今後検討してまいります。</p>
5	<p>八王子の生涯学習振興の拠点として駅から近い場であるので、子どもから高齢者が安心して利用し憩いの場になる様な工事を行ってほしい。</p>	<p>今後も議論を重ね、子どもから高齢者までより多くの市民が気軽に訪れる施設を目指します。</p>
6	<p>エントランスは明るく入りやすい方がいいです。 若い世代にも利用しやすいのは、予約がなくても利用できるカフェみたいなテーブルと椅子があるような部屋、勉強に集中したいときは、半個室のような区切られているなどの部屋だと思います。その際の予約は、名前を記入やネットから即時部屋予約ができるシステムがあれば便利です。 若者と高齢者の共存はなかなか難しいところもあるので、使用できる階を意図して分けたり、時間をかぶらないようにしたりなどの配慮があると、トラブル回避できるかと思います。</p>	<p>各施設のあり方については、中長期保全計画改修工事基本計画で検討してまいります。 また、現在のインターネット予約システムも含めて、今後便利で使い易い施設を中長期保全計画改修工事基本構想で検討してまいります。</p>
7	<p>今回の COVID-19 感染の問題にも触れておいていただきたい。 DX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れて頂きたい。 どの部屋からも Wi-Fi が使える。プロジェクター、スクリーンの設置、さらに、サテライトオフィスコーナーなどがあるとよい。</p>	<p>コロナ禍の経験を踏まえ、生涯学習センター内の設備や備品など、より快適に利用することができる施設を目指します。</p>

・「第7章 今後の検討事項について (P33)」について

	意見など	回答
1	<p>学園都市センターとの連携を密にできるよう、特に講座の作り方を模索する必要があるのでは。</p> <p>学園都市の特徴を活かし、大学・学生との連携の在り方を検討する必要があると思います。</p> <p>ZOOM や SNS など、今後様々な機能が実用化されると思いますが、新たな機能をどこまで想定し、設備を整えておくべきを議論する必要があります。</p>	<p>八王子ビジョン2022において、企業や大学と連携し、市民向け講座の実施や身近なところで学べる学習環境の実現するよう位置付けられており、中長期保全計画改修工事基本計画策定時には、ワークショップで学生からの意見を聞き、学校の現状や意見も聴取したいと考えております。</p> <p>また、各施設の設備や備品につきましても市民ニーズや長期的な利用を見据えた議論を検討しております。</p>
2	<p>幅広い世代からの意見、若い世代の皆さんと意見交換と交流に賛成です。(状況に応じた柔らかく頭で良い施設を作って欲しいと思います。)</p>	<p>今後、様々な御意見を集約し、中長期保全計画改修工事基本計画策定において検討してまいります。</p>
3	<p>あらゆる世代の人の意見を聴くことは大変良い事です。</p>	
4	<p>学生の意見を聞くことも大事ですが、子育て世代にも目を向けてほしいです。</p> <p>図書館で本を探したり勉強したいと思っているママやパパはいると思います。</p> <p>小さい子供を預けて行きたいけど難しい、同じ気持ち・悩みを持っている親と意見を交換してみたいと思っている人に、集まれる機会を持てるような場所の提供ができないか、話し合ってみてほしいです。</p>	<p>今後も懇談会や生涯学習センタービル内の他の所管とも議論を重ね、生涯学習センタービルの機能とあり方について検討してまいります。</p>

・その他

	意見など	回答
1	大変な状況の中で進める改修工事ですがコロナ禍でわかった事も多くそれを活用して良い方向に利用していただきたいと思います。多くの方が利用したい施設ができることを楽しみにしています。	中長期保全計画改修工事基本計画策定では、コロナ禍の経験を踏まえ、今後もより多くの市民が利用しやすい施設づくりを検討してまいります。
2	利用者アンケートへの意見を重視して誰でもが行ってみたいくなる施設になってほしいです。できれば、カフェなどを作り本を読みながらコーヒーをのめる事ができれば良いと思う。	生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本計画の策定においてより多くの方が気軽に入りやすい施設づくりの検討を予定しております。
3	改修するからには外見をきれいにするだけでなく、最新の設備と、中の人情報のアップデートをお願いします。予約するのに電話予約のみ（事情はあるかもしれませんが）は、若者には逆にハードル高いです。全世代に受け入れてもらえる施設であってほしいと思います。	市民ニーズの変化に伴い、建築当初の設備の中で現在では使われていないものもあります。市民のニーズや社会情勢の変化を踏まえ、中長期保全計画改修工事基本計画で施設や設備を検討してまいります。